

主 青竹

豊橋市民病院だより

No.

106

2025.9.30

特集

P4

「臨床研究」って ご存じですか？

P2 当院の食道癌の治療について
副院長 深谷昌秀

P3 新任医師紹介

P5 看護局から
秋の感染対策

P6 診療技術局から
病院の食事について
～食事アンケートの結果報告～

P7 薬局から
百日咳

P8 提案箱



高校生1日看護体験



高校生職場見学会

当院の食道癌の治療について

豊橋市民病院
副院長 深谷 昌秀



食道癌の手術治療は、病気が胸の中にあるのに、胸だけでなく、頸と腹にもリンパ節転移するので、頸胸腹と切除範囲が広範囲に渡り、非常に患者さんの体に負担が大きい手術です。在院死亡率は全国平均約3%と非常に高く、消化器外科の手術の中では、高難易、高度侵襲手術に分類されます。全国登録を用いた研究では、手術関連死亡、術後の生存率ともに食道外科認定施設の優位性が報告され、専門施設での手術が奨励されます（図1）。

食道外科認定施設と非認定施設の術後生存率の比較

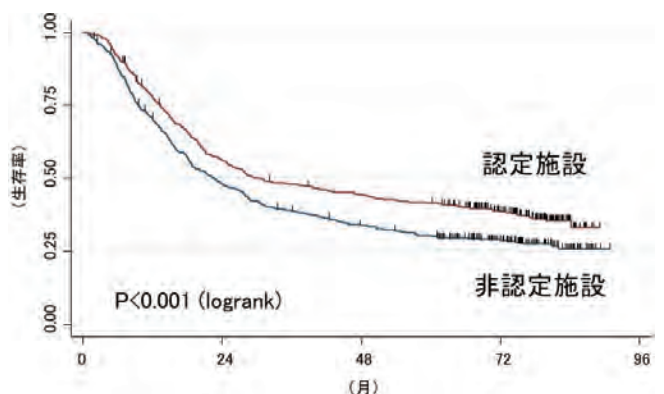


図1

日本食道学会ホームページより抜粋

私自身は今から30年前の平成7年5月に当院の研修医となり、4年間勤務し、国立がんセンター中央病院で食道外科を学び、名古屋大学第一外科で上部消化管グループのチーフとして12年間、食道癌胃癌の診療にあたっていました。縁あって、令和3年1月に再び当院へ赴任し、現在4年半が経過したところです。私の赴任前は食道癌手術症例が年間5-6例だったのが、開業医の先生方、近隣の病院の先生方のご紹介のおかげで、近年は30例以上の症例をこなしています（図2）。県内では愛知県がんセンター、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学附属病院に次ぐ症例数となっています。症例の蓄積により、昨年、日本食道学会食道外科認定施設になりました。

豊橋市民病院の食道切除件数

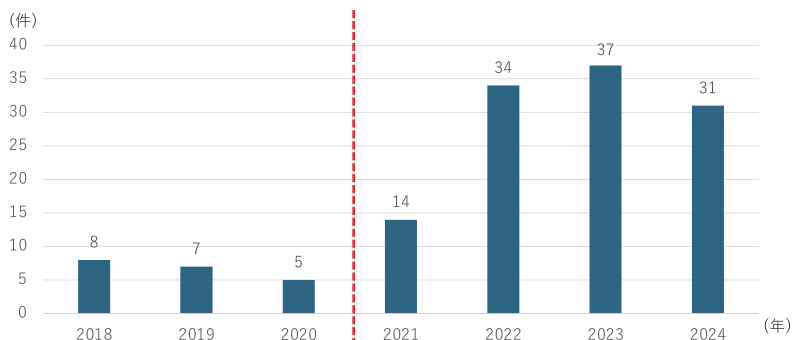


図2

食道癌の手術治療は外科医の技量だけでなく、病院の総合力が試されます。食道癌の患者さんは、狭窄で経口摂取が不十分であること、また病気の

特性上、喫煙者でアルコール飲酒の量が多く、呼吸機能、肝臓機能、栄養状態が低下していることが多く、また近年では術前化学療法が標準治療なので、術前化学療法時からいかに体力を落とさず、手術にたどり着くか、術後はICU管理が必須で、ICU在室時から早期離床、早期栄養療法が大事です。術後嚥下機能が低下するので嚥下専門の理学療法士による指導が必要になります。治療中にさまざまな職種が携わります。現在では、救急科部長（ICU専従医）の斗野先生の声掛けにより、術前にICU医師、麻酔科医、病棟看護師、ICU看護師、手術室看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士が参加し、カンファレンスを行い、患者さんの問題点等を情報共有し、チームとして診療を進めています（図3）。当院の職員の方々には非常に積極的に協力していただき、大学病院時代には、このようなチームとして食道癌の治療にあたることはできなかったもので、非常に感謝をしております。現在当院では、大学病院、がんセンターと遜色ない治療ができる体制になっています。

術前多職種カンファレンス



図 3

New Doctor 新任医師の紹介

皮膚科

ふかうら りょう
深浦 遼

前任地／名古屋大学医学部附属病院

趣味／ピアノ、釣り、麻雀

リウマチ科

たかはし ゆう
高橋 裕

前任地／日本赤十字センター社
愛知医療センター 名古屋第一病院

趣味／旅行

脳神経外科

よしざわ ゆう き
吉澤 勇輝

前任地／中部ろうさい病院

趣味／ゴルフ



「臨床研究」って ご存じですか？



「研究」と聞くと、大学や大病院だけのものと思いませんか？

実はここ、豊橋市民病院でも日々行われています。

臨床研究 とは？

診療の中で得られた多くの患者さんの診療データを分析して、病気の原因を探ったり、新しい治療法や診断法の効果と安全性を確かめたりして、より良い診断や治療を見つけるための取り組みです。

※新しい薬を試す「治験」とは別のものです。

あなたの診療 情報はどう 使われるの？

① 同意をいただいて使う研究

研究の内容を説明し、ご納得いただいたうえで情報を使用させていただきます。

② オプトアウト（拒否できるしくみ）

「直接の同意は取らないが、参加を拒否できる」方法です。

研究の内容は当院ホームページに掲載しています。

「参加したくない」とお申し出いただいても、診療には一切影響いたしません。



みなさんの理解と協力が、未来の医療を育てます

どのような研究が行われているかご関心のある方は、ぜひ当院のホームページをご覧ください。

アクセス方法：トップページ→「診療科・部門」→「臨床研究管理室」→「当院で実施されている臨床研究」→「実施中の研究一覧」を参照してください。



二次元バーコードから該当ページにアクセスできます。

ご質問・ ご相談が ある方へ

「ご自身の診療情報が使われているかどうか知りたい」「研究について詳しく聞きたい」などのご質問がございましたら、以下までお気軽にお申し出ください。

- ・受診されている診療科の医師
- ・各研究の相談窓口担当者（ホームページの公開文書に記載）

臨床研究管理室

看護局から 秋の感染対策

感染管理認定看護師 高橋亮治



秋の感染症の要因は秋バテ？

聞きなじみのない、『秋バテ』という言葉ですが、その原因は「夏の疲れ」+「季節の変化」です。秋口は季節の変わり目で、朝晩は涼しく昼間はまだ暑い日が続きます。この大きな気温差は、体の温度調整を担う自律神経に負担をかけ、免疫力を下げる原因になります。さらに、夏の間の冷房や冷たい飲み物による冷え、寝不足や栄養不足も重なり、ウイルスや細菌に感染しやすくなります。



秋から 注意したい 感染症

インフルエンザ

本来は冬に流行しますが、最近は秋から流行が始まる年もあります。

マイコプラズマ肺炎

秋冬の流行が多いです。特に子供の感染が多いですが、大人も感染することがあります。

ノロウイルス

例年10月以降に本格化しますが、9月から発生することもある。



日常生活の中で免疫力を整え、秋から冬の流行期に備えることが大切です。

秋バテの 対策 ポイント！

- 暖かい食事（汁物・鍋）を取り入れて体を冷やさないようにしましょう
- タンパク質（肉・魚・卵）やビタミンB群（豚肉・大豆・きのこ類）を意識して摂取しましょう
- 夜はぬるめのお風呂やストレッチで血流を整えましょう



今からできる3つの予防習慣

1. 手洗いの徹底：帰宅時、調理前、食事前は石鹸でしっかり洗いましょう
2. 室内環境の整え：換気と掃除を行い、カビやダニの繁殖を防ぎましょう。乾燥してくる季節ですので加湿器も早めに準備しましょう
3. 予防接種の計画：インフルエンザワクチンは10月の接種が目安です。9月から予約を始めると安心ですね

病院の食事について

～食事アンケートの結果報告～

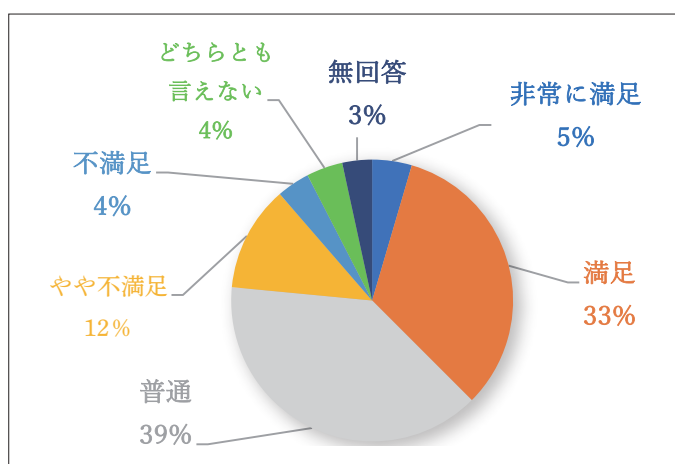
豊橋市民病院の入院中のお食事は、患者さんの病状や嚥下状態、食欲などに応じて250種類ほどの食種を準備しています。

一番多く提供している食種が、食事制限の無い患者さんに提供している「常食」です。同じ常食でも、選択メニューを選ぶ、主食量を米飯200gから100g、150g、300gに変更する、米飯からパンに変更するなど、患者さんの希望に応じて食事内容を変更することができます。

その他にも、患者さんの嚥む力、飲み込む力などに応じて食事形状を変更した「軟菜食、粗きざみ食、やわらか食、つぶし食」、食事摂取量が減少した患者さんに提供する「ミニ食、特別対応食」、食事療法が必要な患者さんに提供する「糖尿食、腎臓食」など、患者さんに応じて様々な食事を提供しています。

患者さんの病状等により提供する食事内容は異なりますが、令和7年2月に食事アンケートを実施しましたので結果の一部をご報告します。

1 食事の満足度について

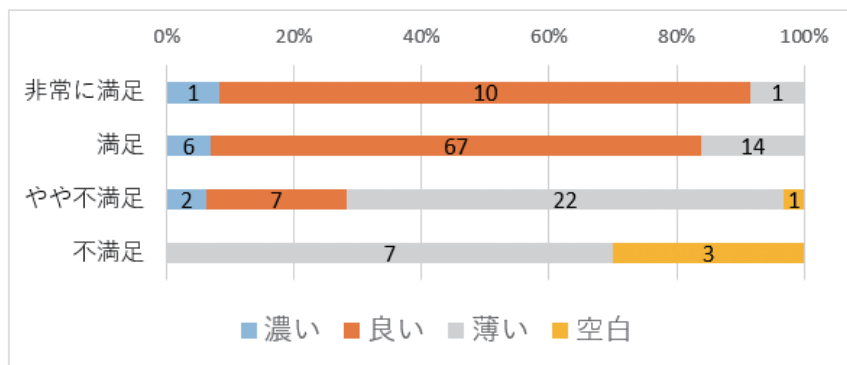


病院の食事（選択メニュー）



食事の摂取量を調査したところ、食事の満足度が低いほど摂取量が少ない傾向がありました。食べることができない理由の1位が「食欲が無い（27%）」、2位が「味が口に合わない（21%）」でした。

2 副食の味の評価について（食事満足度別の評価） ※ 数字は人数



厨房内の盛付風景



食事の満足度が低くなるほど、食事の味を薄く感じる傾向がありました。

病院の食事は、食事制限のない「常食」においても「日本人の食事摂取基準」に準じた健康食として提供する必要があるため、一般的な外食よりも塩分を控えています。

病院の食事は、医師・管理栄養士が検食で確認しておりますが、薄味でも美味しく食べることができるよう、手作りのだし汁や、ゆず等の香りが出る食材を活用するなど、食事の工夫を続けます。



百日咳

百日咳は百日咳菌によって引き起こされる感染症で、感染力が強いと言われています。名前の通り100日近く咳が長引くのが特徴で、成人でもかかることがあります。小児に多い病気です。特に小児では重症化しやすいため注意が必要です。



●症状

- 第1期 カタル期と呼ばれ鼻水・鼻詰まり・咳などの風邪のような症状から始まり、熱が出る場合もあります。このような症状が2週間ほど続きますがこの時期は菌の量が多く、感染力も高くなります。
- 第2期 痙咳（けいがい）期と呼ばれ百日咳に典型的な激しい咳が出現し、2～3週間ほど続きます。咳以外に息を吸った時に「ヒュー」という音がしたり、咳き込んだ後に嘔吐したりすることもあります。合併症として肺炎や脳症などもあり、乳児では注意が必要です。
- 第3期 回復期と呼ばれ激しい咳の頻度は減ってきます。回復まで全経過で約2～3ヶ月かかります。

●治療

通常、マクロライド系抗菌薬（アジスロマイシン、クラリスロマイシンなど）が使われます。用法用量を守り処方された薬をしっかりと飲み切るようにしてください。抗菌薬は発症後1週間以内に投与することが良いとされていますが、それ以降でも菌の量を減らすことで周囲への感染を防ぐことができるため抗菌薬治療が推奨されています。



●予防

百日咳の予防には、生後2ヶ月から定期接種として接種可能な5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効とされています。しかし、接種後年数が経過した人等での発病も見られるため、手洗い・マスク着用等の基本的な感染症対策を心がけるようにしてください。

ご質問等ありましたら気軽に医師又は薬剤師にご相談ください。

提案箱

提案を活用させて頂きました



提案書のまとめ

【所属：医療情報課】

提案月 2025年5月

子どもの付添いで、休日夜間に救急外来を受診しました。重症者の対応等により、待ち時間が長くなってしまうことは仕方がないと理解しています。体調の悪い子どもの気を少しでもまぎらわせようと、スマホで動画を見せしていますが、外来患者向けの病院Wi-Fiは24時間対応ではなく、救急外来の待合は、電波の入りも悪いです。子どもに限らず、待ち時間に少しでも気を紛らわせられるよう、救急外来の待合だけでもいいので24時間対応のWi-Fiを導入していただくと助かります。

対応
内容

電波状況は、どうしても場所により入りにくいことがございますが、対応可能な対策があるか検討させていただきます。

救急外来のWi-Fi利用時間は、ご提案のとおり24時間利用可能に設定変更いたしました。

【所属：管理課】

提案月 2025年6月

空調（エアコン）をもう少し強くした方がいいと思います。病院内が少し暑く感じます。

対応
内容

ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。外来天井の天窓の一部に遮熱シートを設置し、直射日光を遮る対策をいたしました。空調の温度に関しましては天候等を考慮し、調整してまいります。

◆ 豊橋市民病院の理念 ◆

信頼に応える技術と、人に優しい思いやりのある心を持ち、
地域に開かれた安らぎのある病院を目指します

◆ 豊橋市民病院の基本方針 ◆

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 医学部学生、薬学生、診療技術学生、看護学生、救急救命士などの教育を積極的行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

当院のご案内はホームページでもご覧いただくことができます。

——— 豊橋市民病院インターネットホームページアドレス ———

<https://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp/>



豊橋市民病院
携帯
サイト

